

風流印字

●発行
 (株)和歌山印刷所
 〒640-8412 和歌山市狐島609-9
 TEL.073-451-4111
 FAX.073-452-2631

●発行年月日
 2019年8月1日

今年は昨年のような猛暑になるのでしょうか、、、？
 こんにちは！和歌山印刷所、通称「わいん」です。
 暑い夏、やっぱり海ですよ！
 今回は我が社の誇る「ライフセーバーズ」についての特集です。



■ライフセーバーになるには

水辺での危機回避能力を身につける「ウォーターセーフティ講習」、心肺蘇生・AED・気道異物除去等について習得する「BLS（一次救命処置）講習」の2つを経て、実技と座学からなる「サーフ・ライフセービング講習」を修了することで、いわゆる「ライフセーバー」の資格を得られます。わいんには、そんなライフセーバーが3人勤務しています。

■ライフセーバー in わいん

40代前半から始めて還暦を越えても現役の者、ベンチプレス180kgの筋肉自慢、それから学生時代文芸部部長だった私と、多様な経歴が揃っています。ちなみに筋肉自慢と私は入社後、前述の会社先輩の勧めで資格取得しました。

私たちは大阪ライフセービングクラブのメンバーとして主に磯ノ浦海水浴場で監視活動をしています。7・8月の土日海を訪れば、赤と黄のユニフォームを纏う勇姿を見られるかもしれません。

ただ、近くで眺めてもあまり楽しくない可能性が高いです。なぜなら、危なくなりそうな場所はないか、大人の目が届いていない子供はいないか、海水浴場のルールを破っている人はいないか等、ほとんどが地味な監視活動に終始するからです。しかしそれは、ライフセービングの定義にも関連しています。



■ライフセービングとは

「人命救助を本旨とした社会活動のことで、水辺の事故防止のための実践活動」とであると、JLA（日本ライフセービング協会）に定義されています。事故が起きてからの「人命救助」はもちろんですが、あくまで「事故防止」が第一目的であるのがポイントです。派手な人命救助というのは目立ちますし、時に華々しく見えるものですが、本来は人命救助なんて不要なのがベストなのです。みなさんが安全に、安心して遊び、何事もなく楽しく帰ることに勝るものはありません。そのためには、みなさんが自力で身を守る「自助」も不可欠です。

■ライフセーバー事情

和歌山県内の海水浴場のうち、ライフセーバーが常駐しているのは、片男波・白良浜・磯ノ浦の3ヶ所ですが、常駐しているメンバーに和歌山人はあまりいません。ほとんどが大阪や京都、神戸から、電車や車に乗って来て来てくれています。地元の海は、自分たちで守りたい。そんな志のある方はライフセーバーになって、ぜひ私たちと一緒に海の安全を守っていきませんか？

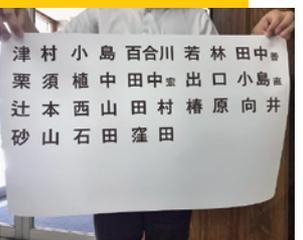
わいわい探検隊!



総務次長なおよんが
 会社のインサイドを
 レポートします!

『営業滞在ボタン』

皆様の会社では、営業マンが外出しているかどうか判断するものはありますか？ホワイトボードに記入したり、『外出』と書かれたマグネットを貼ったりするところをよく見ます。わいんでは玄関横に『営業滞在ボタン』というものがあります。営業マンが出社した時にボタンを押し点灯させ、外出する時にボタンを押して消灯させます。構造はいたってシンプルでボタンを押すと豆電球が点灯し、名前を印刷したトレーシング用紙を照らします。昭和に作られ、現在までずっと使い続けている営業滞在ボタン。令和の時代もまだまだ現役です！



印刷七転び八起き

ちよいと印刷で小断をひろう

題目 メディア・ユニバーサル デザイン(MUD)

弥七は観光マップを入稿するところであった。

弥七「どうだい喜八？ なかなか上手くできたと思うんだが」
 喜八「…うん、悪くはねえと思うが…ちよいと色使いが気になるな」
 弥七「そうかい？ 色分けして見やすくしたつもりなんだが」
 喜八「色分けしてることは構わねえと思う。ただ、配色がメディア・ユニバーサルデザイン
 (以下MUD)を考慮してねえ気がしてさ」
 弥七「また長ったらしい横文字かい。なんたいそりゃあ？」
 喜八「MUDは情報を受けとる全てのの人に正しく情報が伝わるようにするという考え
 方だな。特に高齢者や色弱者への配慮が求められている」
 弥七「どういった配慮が必要なんぞ？」
 喜八「高齢者でも読みやすい書体を使用する」「色弱者はある色を別の色と認識して
 しまうから、区別しづらい配色を避ける」…といったように方法はたくさんある。
 また、高齢者や色弱者がどんなふうに見えるか知っておくのも大事なな」
 弥七「ふむふむ」
 喜八「あと、文字が読めない人のためにピクトグラムといった視覚記号も使うべきだろうね」
 弥七「案内図でもよく見るなあ。これも工夫のつだったとは」
 喜八「公共性の高い場所や公共交通機関、官公庁の印刷物なんかではできるかぎり
 MUDを意識してかええと」
 弥七「ちよいとこらでなぞかけをつ。MUDとかけ
 まして、このコーナーのオチとききます」
 喜八「そのころは？」
 弥七「どちらも、誰もが『うけとれる(情報を)受け
 取れる(笑いの)ウケとれる』でしょう！」
 喜八「お前さん、どちらも精進しないといけねえな…」
 どうもお後がよろしいようで。

●MUDの5原則

- 1.アクセシビリティ【接近容易性】
- 2.ユーザビリティ【使いやすさ】
- 3.リテラシー【読めて理解できる】
- 4.デザイン【情緒に訴える】
- 5.サステナビリティ【持続可能性を満たす品質であること】



走れ、営業マン!!



「ラーメン王」におれはなるっ! (ドン!)
 津村 泰史(出力部次長:44歳)です!

普段の昼食は、愛妻弁当をありがたくいただいています。休日はラーメンを好んで食べております。ということで個人的ラーメンランキングベスト3を発表したいと思います。

まず、第3位は「正善」さんです。老舗の和歌山ラーメンでとても美味しいです。第2位は「丸美商店」さんです。和歌山ミオ B1Fにあるお店でオススメはつけ麺です。そして第1位は「山為食堂」さんです。こってりスープがオンリーワン!チャーシューのレベルも高くライスとの相性も抜群です。注文時は中華そばに加えてライスもお忘れなく!皆様のラーメンベスト3もぜひお聞かせ下さい!!



掛けているものが本体
 椿原 健太(営業部:25歳)です!

メガネを掛けはじめて15年になります。サイズが合わなくなったり寝ぼけて壊してしまったりで、いま掛けている樹脂製の黒縁メガネは3代目の相棒です。3年ほど問題なく使用していましたが、最近フレームの締めつけが緩くなってきました。お店で相談してみると、樹脂製フレームというのは掛けたり外したりするうちに歪んでツルとツルの間隔が広がってきってしまうそう。買い替え時かと思いきや、店員さんがフレームを温めて素晴らしい手際で歪みを矯正してくれました。おかげでいまは生まれ変わったような掛け心地です(笑)



和歌山印刷所ニュースレター・アンケートのコーナー

今回の記事で印象に残った記事などがありましたら下記のチェックボックスにチェックを入れ、感想をご記入の上で FAX を送っていただくとクオカード(500円分)を抽選でプレゼントいたします。(FAX/073-452-2631)

特集「ライフセーバー」 わいわい探検隊 印刷七転び八起き 走れ、営業マン!!

ご意見・ご感想等(御社名/

御氏名/

)

編集後記

普段は眼鏡を、ライフセーバーをしている間はコンタクトの上にサングラスを掛けています。サングラスというと黒っぽいレンズのイメージがありますが、実は透明に近い色のレンズのほうが、有害な紫外線が目の奥まで届きにくいそうです。レンズの色が暗いと、目がたくさんの光を取り込もうとして瞳孔が広がり、余計な紫外線まで取り込んでしまう恐れがあるのです。長く日差しを浴びられる方は、UVカット率やサングラスと顔との密着具合、偏光レンズかどうか等ももちろんですが、レンズの色にこだわるのもいいかもしれません。

(編集長：椿原健太)